

# Youth Manna

マルコ1:35  
さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2023/7/17(月)

## 1 コリント9:19-27

パウロは、自分が受けて当然の権利を放棄してでも、福音のために生きました。そして、パウロの持つ情熱や愛は神様からのものでした。パウロは、人からではなく、神様から受ける冠を受けることを目指していたんだね。

この世の歩みを終えて、天の御国でイエス様にお会いする時、君はイエス様からどんな言葉をかけてもらいたい？そのために、今日、どのように生きるべきだろうか？

2023/7/18(火)

## 1 コリント10:1-13

みんなは出エジプトのイスラエルの歴史を知っているかな？彼らは荒野で神様に超自然的な方法で養われたけれど、その大部分は荒野で滅んでしまった。これらの歴史が聖書に記されているのは、私たちに戒めるためであり、同じ過ちを犯さないようにするためなんだ(6,11)

パウロは「自分は大丈夫」という人は気を付けるようにと言っている。君の中には罪だと知っていながら行なっていることはないだろうか。

神様の前に出て、心を鎮めて祈ろう。

2023/7/19(水)

## 1 コリント10:14-33

13節でパウロは試練に耐えることについて語り、その結論として、コリントの人たちの救いの完成を願って「偶像礼拝を避けなさい」(14)と言う。偶像に献げられた肉や偶像自体に意味があるわけではないが、その背後には神から引き離そうとする悪霊の働きがあり、注意する必要がある。全ては本来主のものなので、何を食べても問題ないが、偶像に献げられたとわかっている場合、「そう知らせてくれた人のため、また良心のために」食べてはならない。食べる、食べないということも含め、信仰者の関心は、「神の栄光を現す」ことに向けられるべきなのである。

今日、私を通して神様の栄光が現されるように、祈ろう！

2023/7/20(木)

## 1 コリント11:1-16

3v. 「すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。」

これは男が偉いと言っているわけではない。同じ主にあって男と女は相互補完的な協力関係である。8-12vでも述べている。

ただお互いに、神様が用意されているそれぞれの役割がある。男性には男性の女性には女性の役割がある。

最近はLGBTQのことが大きく取り沙汰され、世界的に大きく価値観の变革が起きているが、現代の考え、科学が正解だと思っではないだろうか？  
神様にある正しさを求めて生きよう！！

2023/7/21(金)

## 1 コリント11:17-34

ここでパウロは教会での食事（主の晩餐）の話から「一致」が大事だと語っているよ。

●17-22vまで読もう。パウロは何を”ほめられない”と言っているかな？

●単に儀式（礼拝やパン裂き）に参加することじゃなくて、ぼくらが「仲間」として人生を歩むときに、どうやって仲間を大事にしているか、問われているんじゃないかな？

2023/7/22(土)

## 1 コリント12:1-11

パウロはコリントの教会の人たちに御霊の賜物について知ってほしいと願っていた。コリントの教会では、イエス様を信じる前に他の宗教で偶像礼拝をしていた人も多かったから、まず『霊的なこと』が聖書の神である聖霊から来ることを伝えているだね。その聖霊から与えられる賜物はいろいろなものがあって、仕え合うことができる。そしてその全ては神様から来ていて、神様の栄光を現し教会みんなの良いことのためにあるってパウロは教えているよ。

みんなに与えられている賜物は何だろう？どのように神様のために使っていけるかな？考えてみよう！

2023/7/23(日)

## 1 コリント12:12-31

教会はキリストのからだです。「あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です」12:27 私たち一人ひとりが大切な教会の一部分。自分も、教会の友達も、家族もかけがえのないキリストのからだの一部なんだ。

キリストのからだの一部として、あなたはどのように生きているだろうか。キリストのからだの一部である誰かに対して、どのように愛を示しているだろうか。

キリストのからだである教会として、ふさわしく歩むことがどのようなものなのか、みことばを読み、静まって考えよう。